



# 小松ひとみ写真展

「桜逢瀬」「みちのく色語り」

4月18日[火]→5月31日[水]

平福記念美術館では、4月18日から小松ひとみ写真展「桜逢瀬」「みちのく色語り」を開催します。小松さんは仙北市角館町出身の写真家です。

今回、小松さんがこれまで撮影された多くの作品の中から「桜」をテーマとした作品をはじめ「日本の色」を表現した作品を展示します。

小松さんの人柄溢れる、美しく繊細な写真作品をこの機会にぜひご鑑賞ください。



4月18日(火) 9時～ オープニングセレモニー

※セレモニー終了後、小松ひとみさんによるギャラリートークを予定しています。

- 開館時間 / 9時～17時 (入館は16時30分まで)
- 入館料 / 一般(高校生以上)300円、小・中学生200円

会期中無休 仙北市民は無料

会場・問合せ 角館町平福記念美術館 ☎54-3888

# 刺巻地域づくり検討会

# 意見募集

募集期間：4月1日(土)～5月31日(水)

## 道路が変わり、地域が変わる

刺巻地区では国道46号の線形改良により、より走りやすく安全な道路を目指すとともに、道路付替えにより創出される新たなスペースを有効活用し地域の活性化につなげたいと考えています。

## 若い力が必要です

また、地域では高齢化が進み、これまで地区住民が主体となり続けてきた刺巻水ばしょう祭りを今後も守り継承していくには、若手や市民によるサポートが必要になります。

## ご意見をお聞かせください

そこで市民の皆さまから空間の利活用や、水ばしょう祭りを存続させるためのアイデア・ご意見等を広く募集したいと思います。また、地域づくりのためにお手伝いしていただけることや、やってみたいことなど、新たな担い手としての参加も募集しています。いただいた意見は刺巻地域づくり検討会で取り上げ、実施できるものは事業に反映させていきたいと思っておりますので、ぜひお気軽にご応募いただけますようお願いいたします。



### 意見募集の趣旨

刺巻地域は国道沿いの湿原一面に水ばしょうが咲き誇り、多くの人々が訪れる仙北市の重要な観光拠点となっています。また、国道46号は盛岡市と秋田市を結ぶ東北地方における道路交通の要衝となっています。国道46号刺巻での線形改良事業を契機に、国土交通省と仙北市が協力し、刺巻地域の観光振興や地域振興の方策を有識者、地元代表などと意見交換し、地域づくりの方向性を導くことを目的とした「刺巻地域づくり検討会」を設立しました。運営にあたり、より広い視点でのご意見やアイデアを市民・利用者の皆さまからお聞きするものです。

- Q1. 刺巻地域の活性化や、水ばしょう祭りの存続のためのアイデアやご意見がありましたらお聞かせください。
- Q2. 刺巻地域づくりのためにお手伝いしていただけること、やってみたいことはありますか？
- Q3. その他、刺巻地域づくりへのご意見がありましたらお聞かせください。

上記の項目に関してのご意見をお願いします！



《環境学習イメージ》



《地域ボランティアイメージ》



《イベント出店イメージ》

### 提出方法 / 提出先 / 問合せ先

- 【提出方法】 郵送(手紙・はがき)、FAX、電子メールにより、下記の提出先にお送りください。様式は自由です。ご意見には、ご住所、お名前をご記入ください。
- 【提出先】 郵送 → 〒014-0592 仙北市西木町上荒井字古堀田47番地 仙北市役所 西木庁舎 建設課 宛て  
FAX → 0187(47)2166 電子メール → kensetsu@city.semboku.akita.jp
- 【問合せ先】 仙北市 建設部 建設課 TEL.0187(43)2294  
国土交通省 秋田河川国道事務所 道路管理第二課 TEL.018(864)2292

新潮社創業120年記念写真展

# 新潮社 写真部の ネガ庫から



©新潮社

新潮社は2016年、創業から120年を迎えました。1904年に文芸誌『新潮』、1914年に「新潮文庫」、1947年には『小説新潮』を創刊し、これまで日本の文学界に名を残す作品を数多く出版。そして、1956年創刊の『週刊新潮』とともに発足した写真部では、週刊誌のほか、バラエティ豊かな刊行物に合わせて実にたくさんの写真を撮影してきました。その数はネガ・フィルムにして15万2300本にも及びます。

このたび、創業120周年を記念し、ネガ庫に大切に保管されている写真の中から、新潮社写真部だけが写した50人の作家の素顔を皆さまに届けたいと考えました。教科書などで見慣れている写真ではなく、家族との団らん風景、飲み屋での至福の表情、入浴シーン。この写真展でしか見られない1枚をお楽しみください。

4月8日[土]→7月17日[月・祝]

仙北市民は無料

- 開館時間 / 9時～17時 (入館は16時30分まで)
- 休館日 / 毎週月曜日  
※4月24日、5月1日、7月17日は開館します。
- 入館料 / 一般(高校生以上)300円、小・中学生150円

会場・問合せ 新潮社記念文学館 (仙北市総合情報センター内) ☎43-3333

仙北市学習資料館と共通